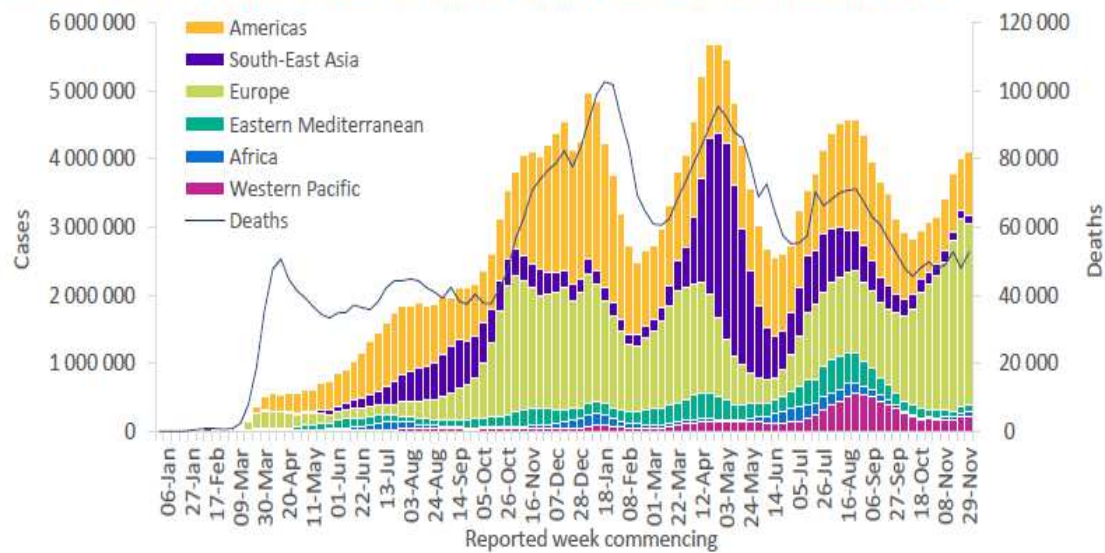




二千二十一年十二月十五日

☆ 4か月ぶりのコロナニュースです。感染がかなり下火になり、ニュースの発行をさぼっていました。第五波は終息しました。その理由を説明できる学者はおらず、コロナウイルスに振り回されるのは我々ばかりではないようです。では第六波は来ないのでしょうか？残念ながら来ない保証はなく、理由がわかるまでは今まで通りの感染対策が必要そうです。

Figure 1. COVID-19 cases reported weekly by WHO Region, and global deaths, as of 5 December 2021\*\*



世界の感染の傾向・・・WHOの統計から、世

界的には第3波を通り越し第4波のただ中。感染力の強いデルタ株への置き換わりが大きな理由です。ワクチンによって第2波は抑え込まれていたかに見えていますが、ワクチンが間に合わず、日本における第5波のような悲惨な状況を引き起こした国が世界中にあるのでしょう。ブレイクスルー感染（ワクチンを2回打ちながら感染する）例も増えていますが、幸い死亡数の増加は感染数の増加ほどではありません。感染をコントロールしなければ新たな株がさらに問題を複雑化するはず。一方デルタ株発祥のインドでは急速に感染が減速しました。人口の7割以上に抗体が検出され、自然感染による集団免疫が成り立っている可能性が指摘されています。その代償として400万人死亡者が出たと推測され、日本で起こしてはなりません。インドは今も感染の再爆発の兆しがありません。自然の力ではなく科学の力で何とか感染を終息させたいですね。

☆ オミクロン株・・・第15番目のギリシヤ文字

の名前が付いたオミクロン株が話題です。デルタが4番目ですから変異が多いのも当然です。三つのシナリオが考えられます。①デルタ株よりも毒性と感染力が強く、世界がさらに悲惨な状況になる。②デルタ株と共存して今まで通りのおびえた生活が続く。③毒性は弱く感染力が強いデルタ株と置き換わりコロナウイルスがインフルエンザと同じような感染症に代わっていく、です。毒性が強くても感染力が弱ければデルタ株に置き換わることはないでしょう。

現時点の情報では、感染力は強いこと、重症化が少ないことが伝わってきています。したがって③の可能性は十分期待できます。しかしまだその毒性がどの程度かは不明です。今後再び毒性の強いものと置き換わらない保証もありませんが、さらに変異を繰り返し、弱毒化していく③の経過途上と考えられます。人類史上こういった感染症は繰り返されてきました。地球が人類を駆逐する意思を持たない限り人類の免疫の獲得とコロナウイルスの変異は人類とウイルス

の共存の方向に向かうでしょう。

☆ ワクチンに期待しています・・・集団免疫には

ワクチンが有効です。現在日本で使われている mRNA ワクチン（ファイザー・モデルナ）はとて

も優秀で、感染と重症化の予防が期待できます。重症者のほとんどが未接種であることから、

命を守るためにはワクチン接種が強く望まれます。同じような人種、同じような接種率、同じ

ような生活環境で、再び感染が爆発している隣国韓国との違いは、韓国のワクチンの半数がア

ストラゼネカ製であることかもしれません。あるいは韓国の状況に近い日本の将来かもしれません。

既感染による免疫とワクチンによる免疫は少し違うかもしれませんが、いくつかのワクチンの組み合わせで感染から逃れることができ

ると期待します。どんな治療・薬にも副作用や無効例は存在します。そのネガティブな面だけを強調する偏った情報に惑わされないでください。

あなたがワクチンを打てない特別な体質やまれな病気をお持ちでないのならワクチンを打

ってください。基礎疾患をお持ちの方こそワクチンが必要です。

第三回ワクチン・・・まだわかっていないことも多いですが、mRNA ワクチンの3回目の接種が、

オミクロン株にもかなり有効であることであるといわれています。ワクチンによる抗体価は時

間がたれば確実に減少します。それでも免疫系に残された記憶（細胞性免疫の力）により2回

の接種で十分な免疫ができることを期待していましたが、ブレイクスルー感染者の増加からは、

2回目の接種までで重篤な副反応のなかった方には3回目のワクチン接種をお勧めします。残

念ながら国の方針で（日本には自前のワクチンがないのですから）接種は来年2月以降になり

そうです。ワクチンの予約は桑名市が一括して管理する予定です。当院では接種を行います

が、予約はできません。市の広報や桑名市のホームページをまめに確認してください。（桑名市ワ

クチンコールセンター：☎ 0120-755-105 年中無休 9:30-18:00）

☆ 再確認感染予防

▼ 換気・・・換気的重要性をもう一度確認し

ます。炭酸ガスモニターにより、強力な換気扇を使っても、数人が狭い部屋に入るだけで炭酸ガス濃度が上昇することがわかりました。寒い冬ですが暖房をしていても昔から言われていた窓開け換気をするこ

とが必要です。当院の待合も時々窓開け換気をします。待合室の炭酸ガスモニターを時々見てください。そして、寒気対策に防

寒着をしつかり着用しましょう。

☆ 当院での PCR 検査・・・当院では以前よりコロナ感染症の抗原検査・PCR 検査・抗体検査を行

っておりますが、国の方針に従い、来年1月よりその検査料を大幅に引き下げることになり

うです。国は無症状の方にも無制限で検査を行うように説明していましたが、医療機関でその検査を行うことは難しいでしょう。通常の医療

に支障が出るからです。当院は PCR 検査の拡充を強く訴えてきましたので、通常の医療に支障

が出ないように工夫しながら、対応していくつもりです。

☆ クリスマス・お正月を楽しみに・・・昨年我慢

したイベントも、工夫して、感染対策を十分に

して行いたいですね。よいお年を！

医院からのお願い

- ★ 電話再診・オンライン診療が利用できます。受付などでご相談ください
- ★ 自宅で検温してください。発熱があればあらかじめ連絡をください！
- ★ 入り口で検温・指消毒・マスクをお願いしています。発熱者は車内待機や発熱外来をお願いします
- ★ 無症状者の PCR 検査は WEB で受け付けています

コロナニュース ⑩ 二十一年十二月十五日発行  
編集・文責 村松正俊

